

畜産ニュース

■定期種畜検査終了

昭和 35 年度の定期種畜検査が、去る 5 月 5 日から逐次県下 36 ヲ所で行なわれ、同 30 日に終了した。これには農林省中国種畜牧場から、松本、寺木両技官が来県され、人口受精の普及とともに種雄畜の重要性が高まっている折から、各個体ごとに衛生、飼養管理繁殖成績などについて厳重に検査が実施された。

検査の内訳は次のとおり、

昭和35年度定期種畜検査内訳

| 所有別 | 和牛 | 乳牛 | 山羊 | 豚 | 馬 | 計 |
|-------|-----|----|----|---|---|-----|
| | 頭 | 頭 | 頭 | 頭 | 頭 | 頭 |
| 国 有 | — | 7 | 3 | — | — | 10 |
| 県 有 | 79 | 10 | 2 | 2 | 3 | 96 |
| 市町村有 | 1 | — | — | — | — | 1 |
| 農 協 有 | 18 | 3 | 1 | — | — | 22 |
| そ の 他 | 66 | 6 | 5 | — | 1 | 78 |
| 計 | 164 | 26 | 11 | 2 | 4 | 207 |

■初生雛の雌雄鑑別全日本選手権大会で岡山県選手個人優勝

社団法人全日本初生雛雌雄鑑別協会主催の第 1 回選手権大会が、5 月 23 日、名古屋市で行なわれたが、この大会で岡山県代表として参加した岡山市の平野孔則氏が個人の部で優勝を遂げ、養鶏岡山のために大いに気を吐いた。優勝記録は 100%、4 分 03 秒であった。

■県酪連総会

発足第 2 年目を迎えた岡山県酪連は、6 月 6 日午前 10 時から岡山市内の山佐楼で、会員来賓など約 40 名が出席して本年度第 2 回通常総会を開催した。

この総会では、昭和 34 年度事業報告および、35 年度事業計画その他の議事について審議され、それぞれ承認を行なった。事業成績中の新しい事

業としては、35 年 1 月から生乳の共販事業が開始されたことで、年度内の取扱数量は 7,310 トンに達している。また 35 年度には、牛乳の生産費に見合う乳価の安定、定時、定量取引を目途としての増産、生乳品質改善と消費拡大を事業方針として、販売・購買・指導・登録などの諸事業を一層強力に進めることになった。

牛乳の共販事業も既に軌道に乗り会員の強力態勢もでき上がったので、35 年度はさらに一段の伸びが期待されている。

■有畜農家創設事業および肉用素畜導入事業のブロック説明会岡山市で開催

農林省主催の、昭和 35 年度有畜農家創設事業および肉用素畜導入事業についての説明ブロック会議が、6 月 16 日、17 日の 2 日間にわたって、岡山市城下、岡山県歯科医師会館において開催された。

農林省からは安藤繁夫畜産経営課長及び、菊田寛家畜導入二係長が出席し、府県関係は富山、岐阜、三重以西、広島、島根以東及び四国 4 県計 19 県の関係者 38 名と、各府県の信連、経済連などから 23 名、計 61 名が参加した。

会議は 16 日午前 10 時 30 分、農林省の安藤課長から、

“農業問題が基本的に研討されている折から、畜産経営のあり方についても改善の必要があり、この面からも有畜農家創設事業、肉用素畜導入事業などの家畜導入事業については、充分研究しなければならなくなった”

旨の挨拶があり、會我岡山県総務部長の挨拶に引続いて、菊田係長から有畜農家創設事業について、35 年度の事業概要及び割当方針、資金取扱事務処理要領及び、補助金の取扱い、過年度事業の整理その他について説明があった後、同事業運営について各府県からの活発な発言があり、熱心に論議され第 1 日を閉会した。

第 2 日は午前 9 時から、新たに実施される肉用素畜導入事業について、同事業実施要綱及び具体的実施方法などの説明および、質疑応答があり午後零時会議を終り散会した。

なお、この両事業についての説明内容の骨子は次のとおりであった。

1. 有畜農家創設事業の運営については従前のおりであるが、利子補給補助金は昭和 34 年度までは、借入資金の繰上償還の有無にかかわらず、元利均等年賦償還計画によって期限までに償還されるものとして補助金を交付していたが、昭和 35 年度事業からは、元金均等年賦償還とし、利子補給補助金は日利計算として、繰上償還したものについては交付されない。償還を滞納したものについては、当初の償還計画に基づいて計算した補助金のみを交付することになり、補助金申請の時期は昭和 34 年度までのものを含めて、年 1 回、12 月末日をもって行なうことになった。
2. 肉用素畜導入事業は、本年度から新たに計画されたものであるが、食肉需要の増大に対処して、肉用家畜（和牛・豚）の肥育を推進、肥育家畜の共販体制を確立して経済性の高い畜産経営を普及促進することが必要であるが、そのために、農業協同組合または、同連合会が集团的に肉用素畜を導入して、組合員または会員に肥育管理を委託する場合の素畜導入資金に対して、国が利子補給として 2.5% の助成を行なうものである。

獣医畜産会・獣医制度 75 周年記念行事の開催予定

去る 6 月 4 日、岡山市西口町、岡山県獣医師会館で、第 5 回岡山県獣医畜産学会準備委員会が開かれ、開催計画について協議が行なわれたがその結果この夏次のとおりの計画で実施されることになった。また同時に今年は、獣医制度が明治 18 年に制定されてから 75 周年目に当るので、これの記念行事も併せて行なうことになった。

行 事 計 画

1. 期日 昭和 35 年 8 月 5 日（金）
午前 8 時 30 分から午後 6 時まで
2. 会場 岡山市津島 岡山大学農学部講堂

3. 主催 岡山県、岡山県農業共済連、社団法人岡山県獣医師会
4. 研究発表 25 名発表
5. 記念行事 (イ) 獣医師大会
(ロ) 獣医畜産功労者の表彰
6. 行事予定
8 : 00 - 9 : 00 開会式
9 : 10 - 11 : 40 研究発表 (12 題)
11 : 40 - 12 : 00 休憩 (昼食)
12 : 10 - 13 : 00 大会行事 (75 周年記念大会)
13 : 00 - 14 : 00 講演
14 : 00 - 16 : 30 研究発表 (13 題)
17 : 00 - 18 : 00 記念祝宴
7. その他
11 月 21 日、22 日広島市平和記念館で開催される中国地区学会へ、本県学会の研究発表者中から 5 名を選考派遣する。

めん・山羊のセリ市開設 (岡山県畜連)

日時および場所

- | | | | |
|---------|--------|----|-----|
| 7 月 2 日 | 総社家畜市場 | 山羊 | めん羊 |
| 7 月 6 日 | 津山家畜市場 | 山羊 | めん羊 |